

## 和文報告書

横浜市立大学医学部医学科4年 153039 島田祥子

私は今回のリサーチ・クラークシップにおいて、シンガポール国立大学のがん科学研究所で約3ヶ月半研究について学ばせてもらっていました。平日は9:00から18:00にかけ、研究所において実験を行ったり、論文を読んだり、事務の仕事を手伝ったりなどし、土曜の午前にはMolecular Biology of the Cellの抄読会を通し、生物学における知識を深めました。最初の2ヶ月間は、研究所から30分ほどの距離にある寮で過ごし、その後研究所近くの大学の寮に引っ越しましたが、どちらも比較的清潔で、快適でした。また食事は基本的に外食でしたが、フードコートなどで手軽に食べられるものも多く、一度食あたりを経験したものの概ね健康に過ごすことができました。

私の指導員の方は中国人の男性の研究員で、実験の手技などを一から教えてもらいました。指導員の方の実験のアシスタントをしつつ、その一部の実験を私の担当とさせてもらい、今回の研究成果としました。会話は英語であったため、専門用語などが理解し難く、コミュニケーションを取る上で、苦労もありましたが、3ヶ月半という期間を通して英語力も少しは成長したように感じます。指導員の方の研究は、赤血球の分化におけるマイトファジーについてのもので、私はマウスの骨髄から摘出した赤芽球系細胞を分化段階で分け、各段階の細胞におけるリソソームマーカーの発現をqPCRを用いて、分析するという研究をしていました。そのほかにマクロファージの細胞株であるRaw cellの細胞培養やミトコンドリアが緑に光るように設計されたdendra miceの赤芽球系細胞を分化段階で分ける作業、他の研究員のマウスの解剖の手伝いなどを行っていました。また研究所では論文紹介のプレゼンテーションを2回、最後に自分の研究成果についての発表を行いました。

土日はシンガポール国内の観光をし、シンガポールでできた友人と映画を観に行ったり、研究所の方に観光地を案内してもらったりと充実した日々を過ごすことができました。研究所に研究留学をしに来ている日本人の医者の方々の話を聞く機会も多く、勉強になりました。また横浜市立大学出身の先生にもお会いし、Duke-NUSの中を案内していただきました。

今回、石井さんに交渉していただき、6年生の先輩方がシミュレーションセンターにおいて実習している様子を見学することができました。シミュレーションセンターでは、病室のような部屋に患者さんの模型が置いてあり、輸血のミスが発生した患者さん、交通事故で搬送された患者さんの対応などのシミュレーションが可能です。マジックミラー越しに医者が学生を観察しており、学生の対応によって、血圧やSpO<sub>2</sub>を変えたり、学生に意見を聞いたりなどしており、見学しているだけでも、実習の難しさが理解できました。日本では目にしたことが無いような施設で、実習としてとても面白かったですし、あくまでも人形の模型なので失敗してもいいという点で良い勉強になると感じました。

### ① 留学を通じて感じたこと

様々な国籍の方と知り合うことで、様々な生き方があるのだと感じました。また母国語以外に自

分自身にゆかりのある言語など多数の言語をネイティブのように話せるという人々が多く、第2外国語として日本語を学んでいる人も多かったです。日本には日本語以外の言語をネイティブスピーカーのように話せる人は少ないように思うので、新鮮に感じました。また、多国籍の人々と触れ合い、自分がいかに無知であったかに気づかされる毎日で、また自分がいかに型にはまりすぎていたかを実感しました。まだ自分の可能性は十分にあり、これから自分の人生をいかに楽しいものにするかを考えていこうと思えました。

### ② 今後、この経験をどのように活かすか

海外で生活をするということに関しての抵抗がなくなり、また英語も多少改善したと思うので、機会があれば、将来海外で仕事をしたいと思います。

私は日本では一人暮らしの経験がなく、今回初めて一人で生活をしたのですが、この経験を通し、積極性が生まれたように感じます。友達を作ろうと積極的に動くことで、中国やベトナム、インド、もちろんシンガポール出身の友人ができました。今後も交流できたら良いと思っています。

### ③ 後輩へのアドバイス

海外で一人で生活することが、良い経験になることは確かです。人とのつながりも出来ますし、迷っているなら飛び込んでみるべきだと思います。また、特にシンガポールの研究所では、研究について一から教えてもらえるため、質問もしやすく、私自身多くのことを学ぶことができたと思います。

海外の研究所を選択しない場合でも、この3ヶ月間は自分次第で、どのようにでもなると 생각합니다。積極的に行動すると、なおリサーチクラークシップが有意義なものになると感じました。

